

志民社会学習会

岐路に立つグローバル化 —戦後国際貿易体制の問題点—

欧米では新自由主義的グローバル化の転換を主張する意見も現れているのに対し、日本国内はいまだ自由貿易拡大推進の声が支配的です。

転換点にある現状を踏まえ、世界経済の今後を考えてみたいと思います。

どなたでも参加していただけます。お気軽にお越しください。

第44回 福岡オルターナティブ研究会

日時：2019年12月14日（土）午後2時～5時

場所：西南コミュニティセンター2階 会議室

福岡市早良区西新6丁目2-92（西南学院大学東キャンパス内、東南側）

電話 092-823-3952（地下鉄西新駅3番出口から北側に徒歩5分）

参加費：無料

テーマ：戦後世界貿易システムの形成・展開・変貌

講師：山本和人さん（福岡大学商学部教授）

（裏面に講師紹介・講演要旨掲載）→

当日受付も可能ですが、資料準備の都合上事前にお申し込みいただくと助かります。

主催：福岡オルターナティブ研究会

共催：FNA（エフナ・アジア開発銀行福岡NGOフォーラム）

後援：（特活）NGO福岡ネットワーク

連絡・問い合わせ先：FNA（エフナ） 下記の連絡先へどうぞ！

FNA（エフナ・アジア開発銀行福岡NGOフォーラム）

福岡市博多区博多駅前3-6-1小森ビル4A「びおとーぷ」内（特活）NGO福岡ネットワーク気付

Eメール fna@minos.ocn.ne.jp 電話・ファクス 092-920-1873

*電話は常時留守番電話です。お名前・連絡先・用件を録音してください。折り返しご連絡いたします

講師紹介：山本和人さん（やまもとかずと、福岡大学商学部教授）

1955年1月生まれ。1983年3月同志社大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学。同4月福岡大学商学部講師。1991年9月同教授、現在に至る。博士（経済学）（2000年、東北大学）。著書：『戦後世界貿易秩序の形成—英米の協調と角逐—』ミネルヴァ書房、1999年。『多国間通商協定 GATT の誕生プロセス—戦後世界貿易システム成立史研究—』ミネルヴァ書房、2012年（増補版、2019年）。共編著：『世界経済論—岐路に立つグローバリゼーション—』ミネルヴァ書房、2019年。共訳：ロバート・ソロモン『国際通貨制度研究 1945 - 1987年』千倉書房、1990年。

報告要旨：2008年の「リーマン・ショック」（正式には2008~09年世界金融・経済危機）以降、世界経済には、格差のさらなる拡大、私的・公的債務の急増、米中貿易・経済摩擦の激化や BREXIT が相次いで持ち上がり、こうした不安定な経済状況が政治に跳ね返り、ポピュリズムや極右勢力の台頭などを招いている。その根源はあきらかに1980年代から本格化した新自由主義的グローバリゼーションにあると考えている。しかしここにきて新自由主義的グローバリゼーションを支持してきた欧米の主要な経済・政治学者の中には、その欠陥に気付いたものが何人かいる。例えば直近では、『フィナンシャル・タイムズ』（2019年9月18日）が、同紙の第1面全部を割き、‘CAPITALISM. TIME FOR A RESET’ というセンセーショナルな大見出しを掲載した。その具体的内容を執筆した主幹のマーチン・ウルフ氏は、1980年代からとられてきた政策を変革しなければ、資本主義システム自体が崩壊すると警告を発している（Financial Times, Wednesday 18 Sept, 2019, p.7）。

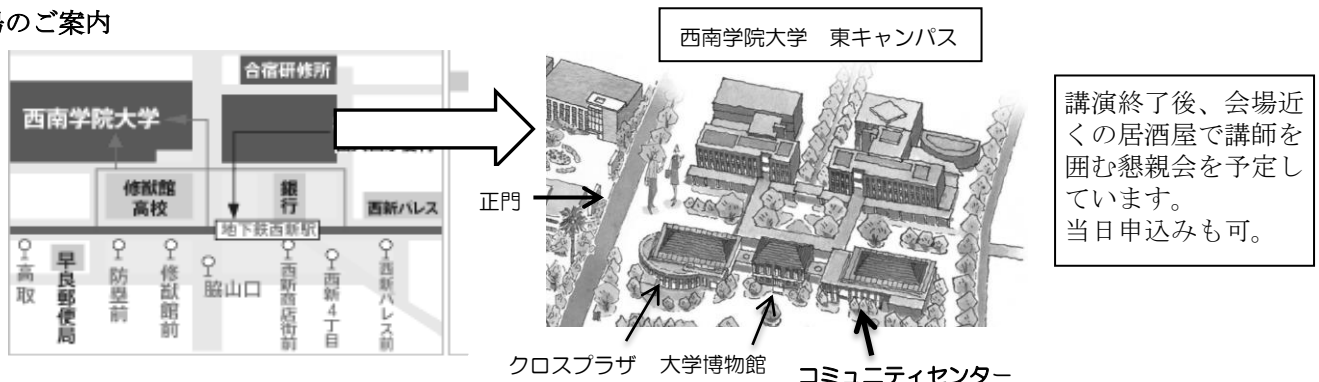
翻って、我が国においては、管見する限り、こうした反省・自省はほとんど見られない。私の専門領域においても、自由貿易や資本の移動（グローバリゼーション）を一層推し進めることと、それを保障する広範で厳格な多国間ルールを新たに作り出すことこそが日本と世界経済を成長と安定の軌道に乗せる処方箋であると主張する論者が主流を占め、彼らの論文が学会誌を占拠している状況にある。

今回の報告は、私の専門領域（世界貿易システムに関する史的研究）から、現在のグローバリズムを考えることにある。とくに2008-9年世界金融・経済危機以降、転換点にある世界経済（グローバリゼーション）の行方や在りかたを探る手掛かりを提供できればと考えている。

参考文献：

- ①山本和人『戦後世界貿易秩序の形成—英米の協調と角逐—』ミネルヴァ書房 1999年
- ②山本和人『多国間通商協定 GATT の誕生プロセス〔増補版〕—戦後世界貿易システム成立史研究—』ミネルヴァ書房、2019年。
- ③山本和人共編著『世界経済論—岐路に立つグローバリゼーション—』ミネルヴァ書房、2019年。
- ④Slobodian, Quinn(2018), Globalists—The End of Empire and the Birth of Neoliberalism, Harvard University Press.
- ⑤—1 Rodrik, Dani(2019), Globalization’s Wrong Turn—How It Hurt America, Foreign Affairs, Vol. 98, No. 4
- ⑤—2 —, — (2018), Global trade needs rules that adapt to economic diversity, Financial Times, Monday 6, August.
- ⑤—3 —, — (2016), Rebel with a Cause, Financial & Development, June.
- ⑤—4 —, — (2018), Straight Talk on Trade —Ideas for a Sane World Economy

会場のご案内



志民社会学習会とは…福岡オルターナティブ研究会が開催する、さまざまな問題を自由に論議する場です。会の趣旨に賛同いただける方はどなたでも参加してください。
基本的に1年に4回、土曜午後2時~5時に開催しています。期日は講師の都合により決定しますので、次回の案内をご希望の方へはメールアドレス等宛にお知らせをお送りいたします。